

## 【2026年4月開始】脱プラ社会の新しい選択肢！

### 低コスト・小ロット対応の紙製小判抜袋「プラストッテ」の本格製造を開始

有限会社山中紙工所（事業本部：京都市南区、代表取締役：山中浩史）は、2026年4月より、ビニール製小判抜袋（アームバッグ）の代替となる環境配慮型の紙製小判抜袋「プラストッテ」の本格展開を開始いたしました。

独自の生産体制の確立により、これまで紙製小判抜袋で課題とされていた「強度確保と低コスト化の両立」、さらに「小ロット対応」を実現。プラスチック製からの切り替えにおいて代替パッケージのコスト高に悩んでいた企業様（展示会・イベント主催者、カタログやサンプルを配布する BtoB 企業様、環境配慮を重視するアパレル・雑貨等の小売店様など）のニーズに応え、持続可能な社会の実現に貢献します。

#### 開発の背景：原油価格高騰や資材供給制約を「紙」製への移行でリスクヘッジ

「プラスチック資源循環促進法」の施行以来、企業には ESG 経営やサプライチェーン全体の脱炭素化がこれまで以上に強く求められています。社会全体で環境負荷低減への取り組みが本格化する一方、従来のプラスチック資材は、その原料である原油の価格や供給が国際的な政治情勢によって大きく左右されるという経営上の不安定さも抱えています。そのため、供給や価格が比較的安定しており、かつ持続可能な包装資材である「紙」への移行は、SDGs への対応を急ぐ企業様にとって経営上のリスクヘッジとしても急務となっています。

一方、持ち手部分をくり抜いた「小判抜袋」を紙で製造する場合、従来は手作業（内職）でボール紙などの補強加工を施すのが一般的ですが、当社ではこれらの課題を解決するため、ロール紙から一貫生産できる独自の製造ラインを確立し、コスト競争力と実用性を兼ね備えた紙製小判抜袋「プラストッテ」を開発いたしました。

#### 「プラストッテ」の3つの特長：低コスト化、高い強度と利便性、小ロット・カスタマイズ対応

- **ワンパス製造による圧倒的な低コスト化**  
専用の製造設備を使い、ロール紙からの印刷・製袋・小判抜きの工程を1台の機械で完結（ワンパス）させることにより、製造コストを大幅に抑え、従来のビニール製小判抜袋に近い価格帯でのご提案が可能です。
- **独自の自動加工による高い強度と利便性**  
持ち手（小判抜き）部分の内側に補強紙を自動で貼り付ける仕様（輪転機）や、切り込みを入れて折り返す手法（枚葉機）を確立。紙製でありながら破れにくい高い耐久性と安全性を実現しました。
- **「既製品+後印刷」による小ロット・カスタマイズ対応**  
需要の高いサイズ等を自社で在庫化している無地製品に後から印刷を施す（刷り込み）独自の手法により、小ロットからのオリジナルデザイン・オーダーメイドにも柔軟に対応いたします。



## 環境への取り組み:導入企業様のSDGs目標達成を後押し

「プラストッテ」は、当社が取得している FSC®森林認証（責任ある森林管理に基づいた木材から生産された用紙）を使用した製造にも対応しています。持続可能なサイクルでの製品提供を通じて、導入企業様のSDGsにおける目標12「つくる責任 つかう責任」、目標14「海の豊かさを守ろう」、目標15「陸の豊かさを守ろう」等の達成に向けた取り組みを後押しします。（当社の CoC 認証番号：SGSHK-COC-350635）

## 今後の展望

展示会・イベント需要に向けた製品ラインナップの拡充を図るとともに、自社で運営する印刷通販サイト「ポチフクロウ」(\*)での販売を強化してまいります。

### ※「ポチフクロウ」とは

当社が運営する封筒・紙袋の印刷通販サイトです。自社開発の受発注システム「楽ポチ」と連携しており、商品ラベルの二次元コードを読み込むだけで過去の注文履歴から簡単にリピート発注ができるなど、お客様の発注業務の負担を軽減する独自の利便性を提供しています。

## 会社概要

- 会社名 : 有限会社山中紙工所
- 代表者 : 代表取締役 山中 浩史
- 創業 : 昭和 20 年 11 月
- 所在地（事業本部） : 〒601-8434 京都市南区西九条仏現寺町 2-7
- 事業内容 : 紙袋・手提袋・その他商業印刷物全般の企画・製造・販売・管理
- 関連 Web サイト : 印刷通販サイト「ポチフクロウ」 <https://www.pochi-fukuro.com/>

## 本件に関するお問い合わせ先

- 電話番号 : 075-682-7071（事業本部）
- FAX 番号 : 075-682-7074
- メールアドレス : yamanaka.shikosho@gmail.com